

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 体験交流事業

札幌の子ども豊かな感性を育み、心身ともに健全な成長を育むほか、ジュニアリーダー研修生が活躍する場の提供を目的に、次のような体験交流事業を実施しました。

令和4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策のため、やむを得ず一部の体験事業において、実施方法の変更及び中止等の対応を取りました。

(1) 大志塾事業

〈札幌市委託業務〉

北海道開拓150周年を契機に「北海道開拓の村」の指定管理者である一般財団法人北海道歴史文化財団の特別協力を得て実施しました。

異なった地域や学年の子どもが参加・交流する事業で、開拓の村クラフトなどを自宅で工作し、みんなの作品展としてWebサイトで紹介しました。〈参加者数 延べ240人〉

◇ 第1回 9月24日(日) ◇ 第2回10月1日(日)

(2) 子どもまつり事業

〈札子連支部独自事業〉

縁日・工作・物販など、創意工夫を凝らしたまつり事業を実施し、延べ約5,200人が参加しました。

(組織形態:区支部が主催、子ども育成諸団体等との共催又は実行委員会のいずれかで実施)

中央区：第41回中央区子どもまつり	： 2月4日(日)
北 区：北区子どもまつり	： 9月24日(日)
東 区：第23回東区ふれあい子どもまつり	： 11月12日(日)
白石区：白石区子ども遊芽カーニバル	： 7月17日(月・祝)
厚別区：第30回厚別区子どもまつり	： 9月3日(日)
清田区：第12回清田区子どもまつり2023	： 8月26日(土)
西 区：第42回西区子どもまつり	： 10月15日(日)
手稲区：子どもまつり2023	： 11月19日(日)

(3) 地域における体験交流事業

☆ 私たちのまちのカレンダーづくり

〈札幌市委託業務〉

参加者から寄せられたテーマ作品「私のまちの好きなところ」「こんなまちになったらいいな」を「2024」のモザイクアートに編集し、今年のカレンダーを作成した。

また、子ども会の育成者がWebサイトで応援メッセージを送る事業を実施しました。

〈参加者数:1,740人(小学1・2年生を含む家族435組)〉

☆ 区支部の体験交流事業

〈札子連支部独自事業〉

- ❖ 区支部では、地域で仲間と遊ぶ体験・野外で遊ぶ体験が少ない子どもなどに、各区支部の特性を活かしつつ、集団活動・野外活動の喜び・達成感を感じてもらふ体験交流事業を企画・実施しました。〈小事業区分(居場所づくり、子ども会学校、野外活動推進等)〉その結果、延べ28回開催され、延べ約2,500人が参加しました。

〈居場所づくり・子ども会学校等〉

中央区：第37回中央区ドリーム号 : 9月30日(土)

こどもの交流の日	: 11月 5日 (日)
北 区: スノーキャンプ (子ども会学校)	: 1月 6日 (土) ~ 7日 (日)
体験チャレンジ	: 2月 23日 (金・祝)
東 区: 第40回さっぽろ・ひがしミステリーGO	: 9月 9日 (土) ~ 10日 (日)
白石区: 工作教室	: 8月 5日 (土)
陶芸体験教室	: 11月 19日 (日)
第45回白石区子ども百人一首かるた大会	: 1月 28日 (日)
厚別区: 厚別区民まつり (協力事業)	: 7月 28日 (金)・29日 (土)
ワクワク陶芸体験	: 11月 18日 (土)
キッズクッキング	: 12月 2日 (土)
新さっぽろ冬まつり (協力事業)	: 2月 10日 (土)・11日 (日・祝)
豊平区: 親子で工作教室	: 1月 14日 (日)
清田区: 工作教室	: 6月 24日 (土)
第24回清田ふれあい区民まつり (協力事業)	: 7月 15日 (土)
書き初め	: 1月 11日 (木)
冬の遊び親子体験【中止】	: 2月 10日 (土)
その他地域イベント (共催事業: 3回)	: 5月・7月・1月
(協力事業: 1回)	: 1月 27日 (土)
南 区: 第45回ジャンボリー・第36回紋別市	: 8月 1日 (火) ~ 2日 (水)
子ども交歓会	
プレイランド	: 9月 16日 (土)
紋別市訪問交流会	: 10月 7日 (土) ~ 8日 (日)
あそびの広場	: 1月 14日 (日)
紋別市・南区子ども会リーダー交流会	: 1月 27日 (土)
西 区: 深川市農業体験実習 (田植え)	: 5月 20日 (土)
(稲刈り)	: 9月 23日 (土・祝)
子ども体験学校「ECO&自然観察体験隊」	: 9月 10日 (日)
西区子ども環境広場	: 11月 25日 (土)
雪を楽しもう「スノーキャンドル2024」	: 1月 27日 (土)・28日 (日)
手稲区: 子どもの居場所づくり (子ども広場)	: 12月 2日 (土) (2か所)
	: 12月 10日 (日)
子ども遊びの駅	: 2月 17日 (土)・18日 (日)

<野外活動推進事業>

各区支部で、青少年キャンプ場 (小野幌・西岡・手稲) を活用し、野外活動が未経験な子どもを対象に、野外体験事業を企画・実施し、**延べ約170人**が参加しました。

- ◇ 東 区: 自然と遊ぼう (小野幌) → 7月 27日 (木) ~ 28日 (金)
- ◇ 厚別区: わくわくキャンプ (小野幌) → 7月 22日 (土) ~ 23日 (日)
- ◇ 清田区: 子ども体験塾【中止】 → 10月 14日 (土) ~ 15日 (日)
- ◇ 手稲区: 子ども学校 (手稲) → 7月 29日 (土)

(4) 地域の教育機関や企業等との連携事業

<札幌市委託業務>

新たに地域の教育機関や企業等と連携し、子どもが将来の夢や目標を身近に感じ、次世代を担う人材育成の重要性を醸成する場となる体験事業を、基本的に自宅・集合体験プログラムを組み合わせて実施し、**延べ約2,800人**の参加いただきました。

このうち、中学生を対象に2つの体験事業を開催いたしました。

◇ **バケツ稲づくり**

(協力：一般社団法人全国農業協同組合中央会 JAグループバケツ稲づくり事務局)

- ❖ 延べ20回(5エリア×4回)→自宅体験学習(観察・水やり等)
- ❖ 参加者数：延べ1,400人

◇ **豊平川びっくり塾**

(協力：北海道開発局札幌河川事務所、札幌市豊平川さけ科学館)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <7月22日(土)>
- ❖ 参加者数：延べ210人

◇ **まるやまZOOTIME**

(協力：札幌市円山動物園)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <7月23日(日)>
- ❖ 参加者数：延べ120人

◇ **さっぽろ手稲の森探検塾**

(協力：三菱マテリアル株、北海道大学森林研究会)

- ❖ 延べ4回→第1回：自宅体験学習(動画で学ぶ)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <8月19日(土)>
- ❖ 参加者数：延べ54人

◇ **お天気塾**

(協力：札幌管区气象台)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <8月20日(日)>
- ❖ 参加者数：延べ90人

◇ **ふしぎ☆おどろきサイエンスキッズ**

(協力：札幌市青少年科学館)

- ❖ 延べ4回→第1・2回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
- ❖ 参加者数：延べ98人

◇ **エネルギー塾 ～風の力を利用したクリーン発電～**

(協力：札幌市環境局、コスモエコパワー株式会社)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <9月30日(土)>
- ❖ 参加者数：延べ114人

◇ **みんなの☆ユニバーサルデザイン**

(協力：北星学園大学、北海道運輸局)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業 <10月22日(日)>
- ❖ 参加者数：延べ54人

◇ **シマエナガを守ろう ～気候変動とSDGs～**

(協力：札幌市環境局、北海道大学大学院地球環境科学研究院、旭山森と人の会)

- ❖ 延べ4回→第1・2回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
- ❖ 参加者数：延べ198人

◇ **北の海を守ろう**

(協力：株式会社札幌副都心開発公社(新さっぽろサンピアザ水族館)、札幌市環境局)

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 <1月9日(火)>
- ❖ 参加者数：延べ468人
- ◇ **話し方オンライン講座(面接で心をつかむ伝え方)**
(講師：株式会社サポルテ専任講師 有田 恵氏)
 - ❖ 延べ3回：Zoom活用によるオンライン体験事業 <1月13日(土)>
 - ❖ 参加者数：26人（対象者：中学生）
- ◇ **外国のライフスタイル&カルチャー**
(協力：公益財団法人札幌国際プラザ（多文化交流部）)
 - ❖ 延べ4回：Zoom活用によるオンライン体験事業
<1月10日(水)、1月11日(木)：ロシア・中国>
 - ❖ 参加者数：6人（対象者：中学生）

(5) キャンプ場管理運営事業

<札幌市委託業務>

札幌市青少年キャンプ場（西岡、小野幌、手稲）を管理運営しました。
新型コロナウイルスに対する規制緩和（5月に感染法上の2類から5類へ移行等）により、3キャンプ場とも利用団体数・人数とも増加しました。

キャンプ場	令和5年度		令和4年度		増加数	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
小野幌	12団体	402人	5団体	186人	7団体	216人
西岡	10団体	543人	3団体	70人	7団体	473人
手稲	10団体	342人	5団体	131人	5団体	211人
計	32団体	1,287人	13団体	387人	19団体 (2.5倍)	900人 (3.3倍)

(6) 子どもの体験活動の場「Coミドリ」

<札幌市補助事業>

南区の旧真駒内緑小学校の跡地施設を活用した子どもの体験活動の場「Coミドリ」は、子どもの自立性や社会性を育む事業運営により、令和5年度で4年目となりました。

令和5年5月上旬、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更（2類から5類へ移行）などもあり、子どもが日常的に来所して遊べる体験活動の場（遊び場・居場所）の環境整備について、市内プレーパーク活動団体との連携を強化し重点をおいて取り組みました。

また、地域との連携にも力を入れ、持ち込み企画による体験事業にも多数取り組んだ。

さらには、利用している子どもや大人との話し合いにより、提案・参加型の体験活動の場をつくり続けるなど、子ども・保護者ニーズの多様化に対応した子ども体験活動の場として、各体験事業のバランスを図りつつ、ブラッシュアップを図りました。

この結果、この規制緩和を背景としつつ、年間利用者総数は**33,433人**となり、前年度の18,734人から14,699人増、前年度に比べて約1.8倍となりました。

このほか、市内全域への広報（Webサイト・小学校経由のPRチラシ）などにより、プレーパークの参加者は、南区以外が約48%で、引き続き市内全域からの来場がありました。

(7) おしごと体験事業

<札幌市補助金事業>

子どもの興味・関心に基づき、経験機会のないおしごと体験を専門学校との協力連携によ

って各学校施設で実施し、延べ**369人**が参加しました。(令和4年度：**262人**の約1.4倍)

- ◇ 看護医療 <8月7日(月)> 32人
(学校法人滋慶学園 札幌看護医療専門学校)
- ◇ 芸術デザイン <8月6日(日)> 142人
(学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校)
- ◇ マンガ・アニメ・声優 <11月11日(土)> 60人
(学校法人北海道安達学園、札幌マンガ・アニメ&声優専門学校)
- ◇ ヘアメイク&パテシェ <11月12日(日)> 135人
(学校法人三幸学園、札幌ビューティーアート専門学校、札幌スイーツ&カフェ専門学校)

(8) 創設50周年記念 ウポポイ体験事業 <札子連独自事業(本部・区支部共同)>

札幌の子ども会育成連合組織の立ち上げから50周年を記念して、子ども会会員(小学4~6年生)を対象に、日帰りバスツアーで白老町にある「ウポポイ(民族共生象徴空間)」への体験事業を実施し、延べ**175人**(子ども128人、大人47人)の参加がありました。

- ◇ 9月9日(土)：北区、白石区、豊平区、清田区
- ◇ 9月24日(日)：手稲区
- ◇ 10月7日(土)：東区
- ◇ 10月28日(土)：中央区、厚別区、南区、西区

2 育成事業

(1) ジュニアリーダー養成研修事業

<札幌市委託業務>

『心とワザを磨こう!~子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう~』を基本的な考え方に、ジュニアリーダーを養成する基本研修・テーマ研修は、新型コロナウイルスが感染防止法の2類から5類に変更等もあり、登録者・参加者とも前年度より増加しました。

名称区分		対象学年	ジュニアリーダー研修回数	登録者数 (令和6年3月31日現在)
基本研修	養成	小学4・5年生	全3回	1,068人 【登録者内訳】 養成：528人 初級：197人 中級：226人 上級：117人 (延べ参加者数) 1,008人
	初級	小学6年生・中学1年生	(日帰り2回、宿泊1回)	
	中級	中学2・3年生	全4回 (日帰り2回、宿泊2回)	
	上級	高校1年生以上	全4回 (日帰り3回、宿泊4回)	
テーマ研修	10区	ジュニアリーダー研修登録者	20回(日帰り研修・各区：防災)	(延べ参加者数) 271人
	全市	小学3~6年生	2回(日帰り研修：防災)	
	全市	ジュニアリーダー研修登録者 中学1~3年生	2回(日帰り研修：防災)	

(2) リーダー研修事業

<全子連・指定都市子連・札子連 共催事業>

- ◇ 第52回指定都市子ども会ジュニアリーダー研修会熊本大会
 - ❖ 日時：令和5年8月18日(金)~20日(日)
 - ❖ 場所：熊本国際交流会館、国立阿蘇青少年交流の家
 - ❖ 参加人数：3名(上級研修生2名、修了生1名)

(3) 育成者研修支援事業

<札子連独自事業>

子ども会活動の課題を他都市子連の関係者と意見交換し、札子連事業等への還元を目的と

する研修会に参加した。また、区支部においても育成者研修会を実施しました。

◇ **第56回全国子ども会育成中央会議・研究大会**

- ❖ 日 時：令和5年10月27日（金）～29日（日）
- ❖ 場 所：札幌市（京王プラザホテル、かでの2・7）
- ❖ 参加者：延べ32人 個人表彰者（3名）
- ❖ その他：当連合会は特別協力

◇ **第59回指定都市子ども会育成研究協議会**

- ❖ 日 時：令和5年10月21日（土）～22日（日）
- ❖ 場 所：仙台市（ホテル仙台ガーデンパレス）
- ❖ 参加者：会長、副会長（1名）、事務局（総務主幹）

(4) 子ども会活動表彰事業

〈札子連独自事業〉

◇ **札子連表彰**

当連合会の定時総会で、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰しました。

- ❖ 単位子ども会：3団体（7年以上にわたって活動）
- ❖ 子ども会育成者：8名（10年以上にわたって活動）
- ◇ **全国子ども会連合会表彰**（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：1団体
 - ❖ 子ども会育成者：2名
- ◇ **指定都市子ども会連絡協議会表彰**（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：1団体
 - ❖ 子ども会育成者：なし

(5) 職員研修事業

〈札子連独自事業〉

全子連の安全共済会加入手続き、個人情報保護、市委託業務の運営方法・報告手続きについて、定例の職員ミーティング及び職員研修会を開催しました。

3 助成事業

(1) 札子連修了生の会（S10LC）助成事業

〈札子連独自事業〉

令和5年度は助成事業の申請はありませんでした。

(2) 子ども会体験活動助成事業

〈札子連独自事業〉

- ◇ ウイズコロナ禍ではありましたが、10区47団体に利用いただきました。（1団体 上限20,000円）
- ◇ 子ども会を立ち上げる団体への助成事業を実施し、北区・1団体へ活動助成を実施しました。（最長3年目まで助成）

4 普及啓発事業

〈共同募金会助成事業・札子連独自事業〉

子どもやその保護者、地域の関係団体や住民の皆様に、活動の楽しさや子どもの成長など、子ども会の意義やその成果を知っていただくために、広報誌の配布等によるPR事業について、単位子ども会のほか、市内の小学校・児童会館・区民センターなどを通じて実施しました。

また区支部では、赤い羽根共同募金の街頭啓発に協力をいたしました。

- ☆ さっぽろっ子（札子連の広報誌） 年1回発行（3月） 15,000部
- ☆ 各支部の広報紙・機関紙 年1～2回発行
- ☆ パネル展 区支部ごと、各種行事に合わせて開催
- ☆ 札子連Webサイト Web申込みなどでアクセス数の増加（令和2年6月にリニューアル実施）

区 分	閲覧数 (セッション数) ※ 訪問者が開いたページ数	閲覧数の増減	訪問者数	訪問者数の増減
令和5年度	74,487件	824件減	49,457人	5,281人増
令和4年度	75,311件	13,257件増	44,176人	9,578人増
令和3年度	62,054件	—	34,598人	—

5 安全共済会事業

<全子連委託業務・札子連独自事業>

◇ 全子連の安全共済会への加入者数

❖ 令和5年度:**22,931人**<前年度 3,182人増(約16%増)>

※ 令和4年度:19,749人<前年度 552人減(約3%減)>

※ 令和3年度:20,301人<前年度4,127人増(約25%増)>

※ 令和2年度:16,174人

◇ 単位子ども会数

❖ 令和5年度:**337団体** <対前年度28団体増>

※ 令和4年度:309団体 <対前年度22団体増>

※ 令和3年度:287団体 <対前年度28団体減>

※ 令和2年度:315団体

◇ その他

また、会員の怪我発生時に支払われる医療共済金は、ウイズコロナ禍で発生しませんでした。

このほか、10年無事故の**単位子ども会14団体**に、賞状・記念品を贈呈して褒賞しました。

6 重要な契約の報告

契約の概要 (業務名)	相手方	契約金額
札幌市ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務	札幌市	93,940千円
札幌市「子どもの体験活動の場」運営事業費補助金	札幌市	26,154千円

7 管理運営の報告(令和5年度末)

☆ 理事:15名(非常勤14名、常勤1名)(会長1名、副会長2名、常務理事1名)

☆ 監事:2名

☆ 理事会:令和5年6月9日(金) 令和5年度 第1回理事会

令和6年3月7日(木) 令和5年度 第2回理事会

☆ 総会:令和5年6月25日(日)

☆ 事務局:本部事務局、区支部事務局(10区)、C o ミドリ事務局

◇ 本部事務局の職員

事務局長 事務局次長(欠員)

総務主幹 地域連携事業主幹(令和5年12月31日付 自己都合退職)

調整主幹(令和5年9月30日付 自己都合退職)

研修事業係長 体験事業係長(令和6年1月31日付 自己都合退職)

調整主査 チーフ

◇ 本部・区支部事務局の常勤的嘱託職員

4名 自己都合退職、4名 新規採用

◇ C o ミドリ事務局の職員:施設長、主査、チーフ、プレーワーカー(数名)